

OB・OG 訪問の進め方

平成 28 年 11 月 16 日現在

①目的～「生きた」情報を自分自身で獲得すること

- OB・OG 訪問をすることで、会社説明会の資料、会社案内やウェブサイトに掲載されている「企業側からの情報」だけでなく、**各企業の経営理念・経営の特徴・社風などを現場感覚で感じ取る**ことができるなど、「生きた」情報を得る機会となります。
- OB・OG のお話を聞くことにより、その企業で働いている自分の姿をイメージすることもできるでしょう。「この先輩と一緒に仕事をしたい」と感じる事ができれば、そこは自分に合っている職場かもしれません。
- 学生の皆さんからの OB・OG 訪問に関する質問では、「採用に有利になるのですか?」「就職活動において必須なのですか?」「たくさん訪問したほうがいいのですか?」というものが数多くあります。上記の通り、OB・OG 訪問は自分自身のために行うものです。たくさん訪問することが大切なのではなく、**企業への志望動機をよりリアルで具体的なものにし、志望意欲を高めることができるもの**だと捉えてください。

【参考】OB・OG 訪問の時期によって目的は変わる

OB・OG 訪問はインフォーマルなものなので、いつおこなってもよいものです（ただし、選考を受けらうので OB・OG 訪問を必須としている企業も一部あります）。最終面接前の対策や複数内定獲得後の就職先選びのために OB・OG 訪問をする人もいます。

就職活動が本格化する前の時期なら、学生からの依頼が少なく OB・OG とアポイントがとりやすいと思いますので、じっくり話を聞けるでしょう。

エントリーシート受付前の時期には、自分の志望先を探るために、業界や企業・組織、仕事の内容など、さまざまな話を聞いてみましょう。エントリーシート受付の時期には、エントリーシートの内容に関するアドバイスをもらうのもよいと思います。ただし、選考にかかわるものなので、文面そのものへのアドバイスは断られる可能性があることにも留意してください。

②OB・OG に対するアプローチのしかた

【探し方】

如水会員が利用できる「如水会 WEB 名簿」

本学の同窓会組織である如水会では「如水会 WEB 名簿」を提供しています。

<https://www.josuikai.net/accounts/login/?next=/alumni/>

如水会会員番号と生年月日を入力してログインすると、個人情報会員限定で公開している OB・OG の個人情報（氏名、卒業年、学部、勤務先部署・電話番号・メールアドレス、自宅住所・電話番号・メールアドレス）が閲覧できます。ただし、本人の希望で非掲載の場合もあります。

入会しているかわからない、会員番号がわからない人はキャリア支援室で確認してください。

如水会に入会希望の人は WEB（<https://www.supportyou.jp/josui/form/68/>）で手続きをしてください。もしくは西キャンパス生協 2 階・大学生協本部でも手続き可能です（在校生の約 7 割が如水会に入会しています）。

キャリア支援室にある「企業別 OB・OG 名簿」、「卒業生進路一覧」
<p>キャリア支援室では「企業別 OB・OG 名簿」、「卒業生進路一覧」（過去 5 年分）が閲覧できます。閲覧には学生証の提示が必要です。</p> <p>「企業別 OB・OG 名簿」は、学内会社説明会に参加した会社が、OB・OG 訪問の対応を承諾している本学卒業の社員をリストアップして下さったものです。キャリア支援室では、OB・OG 名簿の更新や追加公開を毎年各社にお願いしていますが、会社の事情などにより名簿の数には限りがあります。</p> <p>※『就職活動体験記』（冊子、manaba）にもメールアドレスの掲載があります。</p>
ゼミ、部活動・サークルなどの卒業生名簿を活用しよう！
<p>ゼミ、部活動・サークルなどの卒業生名簿を活用したり、先輩から知り合いの方を紹介していただく、さまざまな方法を積極的に活用してください。</p> <p>各種名簿を見て OB・OG に連絡することはハードルが高いと感じる場合は、知り合いの方を紹介していただく方法からスタートするとよいでしょう。</p>
学内の会社説明会に参加する OB・OG にお願ひする
<p>学内開催の会社説明会には毎年、本学の OB・OG が先輩社員として登壇する企業が多数あります。説明会終了後に個別に挨拶をし、後日 OB・OG 訪問をさせてほしいとお願いしてみるのもよいでしょう。その際に名刺交換ができるよう、自分の名刺を用意しておいてください。</p>
ほかの OB・OG も紹介してもらおう
<p>OB・OG 訪問をした際には、同じ企業に勤めるほかの人を紹介してもらえよう積極的にお願いしてみてください。志望度の高い企業・組織の場合は、さまざまな角度から理解を深めるために、部署や職種の異なる OB・OG を複数訪問するとよいでしょう。</p> <p>ほかの企業に就職した友人の紹介をお願いするのもよいかもしれません。</p>

【OB・OG の選定】

- 初めて訪問する場合は、入社 3～5 年前後の方だと話が聞きやすいでしょう。その後は、マネジメントや海外業務等、さまざまな経験を積んだ入社 10 年以上の方にも訪問するとよいです。
- 入社年次のほか、自分の希望業務に携わっている（携わっていた）こと、出身学部・性別なども選定基準にできます。

【メールでのご連絡】

- アドレスがわかる場合は、電話よりもまずメールでご連絡する学生が多いでしょう。OB・OG には週末しか私用アドレスのメールを確認しない方もいますので、1 週間ほどお返事を待ってみてください。それでもお返事がない場合は、電話を架け「1 週間ほど前にメールをお送りしたのですが、お忙しいようでしたので、お電話を差し上げまして失礼いたします」と連絡してみましよう。留守番電話に切り替わった際は、伝言を残しておくといよいです。
- **OB・OG からお返事があった際は、すぐにレスポンスをするようにしてください**（OB・OG から「返事が来ない」というお困りの声がキャリア支援室に寄せられることもあります）。

【電話でのご連絡】

- OB・OG 名簿の情報は、同じ会社の中での部署異動などの最新情報が更新されていなかったり、代表電話しか掲載されていなかったりすることがあります。その場合は代表番号に電話を架け、「一橋大学の〇〇と申しますが、御社でお勤めの△△さんが卒業生でいらっしゃるため、お話を伺いたいと思っております。つきましては、△△さんの部署におつなぎいただけますでしょうか。」と丁寧にお伝えしましょう。社名しかわからない場合でも、ホームページで代表番号を調べた上で、同じように電話をかけてみてください。

- 勤務先にお電話する際は 10:00～12:00、退社前の 14:00～17:00 あたりがよいでしょう。OB・OG の方が不在の場合は、電話に出てください方に「いつ頃、架け直せばよろしいでしょうか」と尋ねたうえで、改めてご連絡してください。
- OB・OG 本人の携帯電話に架ける場合は、お昼休みの時間帯となる 12:00～13:00、業務終了時間となる 18:00 以降がよいです。
留守番電話となった際は、大学・氏名、OB・OG 訪問を希望していること、可能であれば折り返しお電話をいただきたいこと（自分の電話番号も添えて）など、伝言を残しましょう。ただし、折り返しの電話がかかってこないこともあるので、その際は自分から改めて電話を架けてください。

③事前準備

- 名刺
OB・OG 訪問の際に名刺交換ができるよう、自分の名刺を作成しておきましょう。名刺は生協で作ることができます。また、名刺用紙を購入し、ソフトをダウンロードして自分で作成してもかまいません。
- ビジネスマナー
OB・OG 訪問は多忙のなかで時間を割いてもらうことになり、OB・OG の厚意に甘えるものとなります。そのため、OB・OG にアポイントをお願いする際はもちろんのこと、訪問の際もマナーに留意してください。ウェブサイトなどを活用して、電話・メール、名刺の表記、名刺交換、訪問したときの態度、言葉遣い、服装に関するマナーをよく確認しておくといよいでしょう。
- 質問事項の整理
アポイントが取れたら、訪問前に自分自身の考え・希望を整理し、質問事項を具体的に準備してください。まず勤務先のホームページなどで基本的な情報や興味のあることを調べ、わかったこととわからないことを整理しましょう。そのうえで、OB・OG への質問項目をつくってください。さらに、**おもな質問項目を事前にメールなどで伝えておく**と、OB・OG も準備がしやすくなります。多忙のなか OB・OG が厚意で時間をとってくれることに対するマナーとしても重要です。質問事項は、働き方や企業・組織風土などの質問に偏ってしまう学生が多いようです。しかし、業界理解・企業理解を深める機会なので、以下のような観点から幅広く聞くようにしてください。

<質問事項の例>

就職活動と就職後	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 就職先として決めた理由（興味・関心や問題意識とのつながり、ほかに志望した業界・企業との比較ポイントなど） ◇ 実際に働いて感じていること（学生時代に抱いていたイメージとのギャップ、就職後の考え方・価値観の変化など）
業界	◇ 業界動向と今後の課題
経営・事業	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 経営方針や事業展開の特徴、同業他社との違い（プラス面とマイナス面それぞれ） ◇ 今後の展開や課題
商品・サービス	◇ 商品・サービスの特徴、同業他社との違い（プラス面とマイナス面それぞれ）

	◇ 今後の展開や課題
仕事	◇ 担当してきた仕事の内容(仕事のプロセスや関係者とのかかわり方など、働いている姿がイメージできるよう、具体的に) ◇ 仕事において魅力と感ずることや大変なこと ◇ 身につく力や鍛えられたこと ◇ 個人としての将来的な目標
働き方や組織風土	◇ 勤務時間の実態、有給休暇は取得しやすいか、育児・介護との両立も含めて働き続けやすいかなど ◇ 経営理念や社風が具現化されていると思うような具体的事例 ◇ 職場の雰囲気や働いている人の特徴(プラス面、マイナス面それぞれ)

※マイナス面も率直に聞いてみよう

説明会の場は採用側にとってのPRでもあるので、その企業・組織のよいところを中心に説明することが多くなります。それに対し、マイナス面などの情報も聞けるのがOB・OG訪問の利点です。どのような企業・組織でもマイナス面はかならずあります。だからこそ、「こんなところだと思わなかった」と早期離職してしまうのではなく、マイナス面も理解・受容したうえで入社してくれることをOB・OGも望んでいます。OB・OGは可能な範囲で率直に話して下さることが多いので、遠慮せずに聞いてみるようにしてください。

④訪問中

- 訪問の際は、挨拶の時に受け取った名刺を見ながら、OB・OGの所属している部署の仕事内容から聞いてみましょう。お話を進めながら、上記の質問項目などを掘り下げて聞いていくとよいです。
- 訪問中はメモをとることに必死になるのではなく、OB・OGの顔を見てしっかりお話を聴きましょう。
- OB・OGにほかの方を紹介してもらえれば、さまざまな立場や視点からはば広くお話を聞くことができます。同一企業・他企業に勤務しているOB・OGはもちろんのこと、本学卒業生に限らない社員を紹介してもらえるよう、積極的にお願いしてみましょう。

⑤訪問後

- 訪問後には自分なりの考えや感想などを整理し、まとめておきましょう。その業界や企業への志望動機、取り組んでみたい仕事・将来の目標などを考えるにあたって、非常に役に立ちます。
- OB・OGには必ずメールなどでお礼を伝えましょう。その際、お話を聞いて参考になった点、興味深かった点などの感想も簡潔に添えてください。追加で質問したいこともあるでしょうが、多忙なOB・OGに負担をかけることになるため、簡潔に返答できるような質問1つに絞るとよいです。さらに、**就職先が決定したときには、報告を兼ねてお礼のご連絡をしましょう。**入社後数年経ったときに相談しやすくなるなど、先々で生きてくるはずですよ。
- 志望度の高い企業の場合は、企業理解を深めるために、部署や職種の異なるOB・OGを複数訪問するとよいでしょう。